

島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	熱中症患者の医学情報等に関する疫学調査 (Heatstroke STUDY)
研究期間	2017年7月6日 ～ 2026年3月31日
対象患者	熱中症と診断されたすべての患者さん (外来診療のみで帰宅した患者さんは除外しますが、外国人旅行者、身体障害がある場合は、受診後に外来帰宅であっても対象とします。)
対象期間	2017年7月6日 ～ 2017年9月30日 2018年7月5日 ～ 2018年9月30日 2019年7月4日 ～ 2019年9月30日 2020年7月1日 ～ 2020年9月30日 2021年7月1日 ～ 2021年9月30日 2022年7月1日 ～ 2022年9月30日 2023年7月1日 ～ 2023年9月30日 2024年7月1日 ～ 2024年9月30日 2025年7月1日 ～ 2025年9月30日
研究機関の名称	別添のとおり
研究責任者	救命救急科 山森 祐治
意義・目的	本邦における重症熱中症の実態については、ほとんど解明されていないのが現状であり、日本救急医学会熱中症および低体温症に関する委員会は2006年から熱中症の実態に関する全国調査を行い、重症者の多くが日常生活の高齢者であることを明らかにしてきました。今後は、その病態や治療方法について、より具体的な対策を講じていかなければいけません。 本研究では、重症熱中症の全国規模の実態調査であり、原因や病態の解明および治療や予後の実情を把握し、発生の予防に向けた地域医療へのアプローチを検討することを目的とします。
研究の方法 (試料・情報の利用方法・他施設への提供方法を含む)	対象患者さんについて、診療録から「利用・提供する試料・情報の項目」に示す情報を収集し、日本救急医学会熱中症および低体温症に関する委員会の作成したホームページからWeb登録します。 個人情報保護のため、氏名、住所、生年月日、電話番号等の個人を識別できる情報については登録しません。
利用・提供する試料・情報の項目	年齢、性別、来院方法、発生状況、現場でのバイタルサイン、既往歴、生活歴、来院時の所見(身体所見・検査所見など)発生原因、治療法および転帰に関する情報等
試料・情報の提供の有無	試料・情報の他施設への提供 <input checked="" type="checkbox"/> あり・なし (ありの場合、海外の施設への提供 <input type="checkbox"/> あり・ <input checked="" type="checkbox"/> なし)
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。
結果の公表	今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌などで報告されることがあります。
備考	

***** お問い合わせ先 *****

島根県立中央病院
救命救急科 山森 祐治
電話：0853 - 22 - 5111

研究組織

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター、日本救急医学会熱中症および低体温症に関する委員会、日本救急医学会指導医指定施設、救命救急センター、大学病院ならびに市中の救急部の中で研究への協力が得られた救急医療施設